

# 『伊能忠敬研究』 第56号 目次一覧

■頁 表紙は -1、表紙解説・目次は 0 としています。  
 ■凡 例 [ジャンル] ●=日記 ■=史料・資料 ◎=伊能忠敬 ○=周囲の人物 △=史跡めぐり  
 [表 題] 《 》=誤記の訂正 例：伊能図探究 第一〇号 伊能図見て歩き (三) 《 (四) 正当》  
 [ ] =内容の注記 例：伊能家文書紹介 十一 その二 枇榔嶋〔日向国臼杵郡〕

号数	ジャンル	番号	表題	著者	号-頁	発行日	
56号	表紙	1	表紙 伊能忠敬研究 二〇〇九年 第五六号 史料と伊能図	伊能忠敬研究会	56--1	20090531	
		2	表紙図解説 米国議会図書館所蔵 伊能大図第155号 松江 (部分)	鈴木 純子	56-0		
		3	目次		56-0		
	△史跡探訪	4	史跡探訪6 「伊能忠敬先生絶讃の地」記念碑 「忠敬先生絶讃の地」で忠敬先生を絶賛する (のだ しげお・元NHK勤務)	福岡県大野城市 在住 野田 茂生	56-1		
		話題Ⅰ	5	「樂天樓」の罫紙と版木 現在残っている『測量日記』は、折り目の部分に「樂天樓」の名(ネーム)が入った罫紙に書かれており、その版木も保存されている 版木の「樂天樓」と彫られた部分			56-2 56-3
	6		完全復元伊能図全国巡回フロア展 忠敬ゆかりの地・深川から出立 内覧会 一般公開		56-4 56-5		
			会場こぼれ話 お世話になりました! マスコミ報道から 「横浜・開港百五十周年」フロア展	伊能 陽子	56-5 56-6		
			7	「伊能中図の写し」を臼杵市で確認一大分県で初、部分的な写しは希少ー 臼杵藩領に着色「臼杵沿岸実測図」	(大分合同新聞)		56-7
	8		佐原・観福寺で「忠敬祭」肅々と		56-8		
	9		今年も各地で「伊能大図」フロア展開催 国土地理院「測量の日」関連イベント		56-8		
	10		2009間宮海峡発見200年記念 伊能忠敬大図フロア展inわっかない		56-8		
	11		測量の碑記念事業・土別市開拓110周年記念事業 伊能忠敬大図2009フロア展inしべつ		56-8		
	●伊能大図 総覧		12	伊能大図総覧の地名と景観(十) 富士山 御殿場 富士宮 人穴・白糸の滝 (ほしの よしひさ・代表理事・(社)日本測量協会副会長)	星 埜 由 尚		56-9 56-12 56-18
			話題Ⅱ	13	「伊能忠敬先生絶讃の地」碑文について		野田 茂生
		14		日食と伊能忠敬 世界天文年である今年、二〇〇九年七月二十二日に日食が起こる。日本の陸地での皆既日食は、一九六三年七月二十一日以来四十六年ぶり。次回は二十六年後の二〇三五年九月二日 忠敬先生が測量中に起こった日食は計四回だが、うち三回はあいにくの曇天 文化七年三月朔日〔1810.04.04〕に一回だけ、豊後鳩浦〔蒲戸崎北側。現大分県津久見市四浦〕で雲間から観測できた日食観測に使用した機器			56-36
		◎芳名録より	15	芳名録より一佐原伊能家を訪れた人々ー 飯田 吉英(いいた よしふさ) 大正十五年八月 亙理 章三郎(わたり しょうざぶろう) 大正十五年八月十九、二十両日にわたり	伊能 陽子		56-20 56-21
研究ノート	16			伊能忠敬に学ぶ 小・中・高校生の社会科学習 大分県日田郡大山町(現日田市)都筑小学校六年担当から、学区の三光山伝照寺の過去帳に、文化九年六月二十九日〔1812.08.06〕伊能忠敬一行止宿の記事あるが、との手紙が伊能忠敬記念館に届く	佐久間 達夫	56-22	

号数	ジャンル	番号	表題	著者	号-頁	発行日
56号	研究ノート	16	第八次測量日記によると、当時は続木村	佐久間 達夫	56-23	20090531
			伊能測量隊宿泊碑		56-24	
			伊能勘解由忠敬宿泊の地標と都筑小の子供			
			香取市内F小学校六年担当の、社会科学習指導案 (さくま たつお・伊能忠敬研究家)			
◎石谷春香 レポート	17	研究レポート『伊能忠敬』(五)《(六)》 富岡八幡宮から川崎まで歩く！(その二)	石谷 春香	56-28		
		第七章 富岡八幡宮から川崎まで歩く！(つづき)		56-34		
		富岡八幡宮 九時→JR川崎駅 五時間四五分				
		家から家 45,675歩 地図で23.1km				
		実際は30kmくらい歩いたか (いしや はるか・文教大学付属高等学校一年)				
◎柏木家資料	18	柏木家に残された忠敬資料(二)	柏木 隆雄	56-37		
		法隆寺霊宝目録		56-38		
		伽藍東院部分(中央の建物は夢殿)		56-39		
		伽藍西院部分(中央の建物は五重塔)		56-40		
		法隆寺古絵図解説		56-41		
		大和・和泉・近江・但馬・山城・河内の六ヶ国絵図表紙 (かしわぎ たかお・税理士・作詞家)		56-42		
		「聖徳太子絵伝」部分		56-43		
		法隆寺境内図		56-44		
		◎和算の人脈		19	和算の人脈(補遺)	安藤 由紀子
記録を残した遊歴和算家 大島善右衛門	56-47					
犬目の平助						
山口和 道中日記(文化十四)						
伊能秀蔵(伊能勘解由伴)が問うた問題の由						
小野栄重 (あんどう ゆきこ・「伊能忠敬文書目録」編者)						
付表〔関連年表〕	56-53					
△星座石 (葛西昌 丕)	20	伊能忠敬の測量之碑第一号 忠敬の生存中に葛西昌丕(かさいまさひろ)建立	佐久間 達夫	56-54		
		平成十一年四月、読売新聞社大船渡支局の名村栄治氏の訪問		56-55		
		唐丹の碑 もとは白岬地区の海岸近くの、葛西昌丕の隠居跡にあった				
		星座石 地元の人々が「ヒドケイ石」と呼ぶ、楕円形の置き石		56-56		
		星座石の刻字				
		測量之碑の読み下し文 北極出地度数越享和元年辛酉秋九月二十四日〔1801.10.31〕以次及我郷測定為三十九度一十二分				
		渡部健三氏は、平成十三年のとある日、拙宅にお出でになり、翌年四月八日、『伊能測量隊、東日本をゆく』の図書が送付されてきた		56-58		
		(さくま たつお・伊能忠敬研究家)		56-59		
唐丹の碑 謎深まる忠敬との出会い						
研究ノート	21	大谷亮吉と『伊能忠敬』	橋本 万平	56-60		
		明治四十一年六月、長岡半太郎が学士院に忠敬の事績の調査を提案		56-61		
		同年八月一日、長岡半太郎の弟子大谷亮吉に、伊能忠敬測地事績調査を囑託する辞令が出ている		56-62		
		大谷亮吉は最初に、佐原旧伊能家で、忠敬の遺書・遺品の調査を行った				
		原稿が完成したのは、着手してからあしかけ九年後の大正五年				
		『伊能忠敬』は岩波書店から大正六年三月三十日の日付で発行された		56-63		
		大正六年〔1917年〕は伊能忠敬百回忌に当り、四月十三日の忌日に源空寺で法要が行われた				
		岩波書店発行雑誌「思潮」創刊号(大正六年五月一日)の裏表紙に『伊能忠敬』の広告が出ている				

号数	ジャンル	番号	表題	著者	号-頁	発行日
56号	研究ノート	21	岩波書店『図書』第二八三号（一九七三年三月号）より転載したもの（編集部） （はしもと まんぺい・神戸大学教授）	橋本 万平	56-63	20090531
	九州支部だより	22	＝名護屋城博物館で学ぶ＝「慶長肥前国絵図」「測量方御用諸事覚帳」を見学 （ばば りょうへい 塚崎・唐津往還を歩く会）	馬場 良平	56-64	
	例会報告	23	例会報告～第四回～		56-68	
	会員便り	24	会員情報 入会 長谷川 貞夫さん（東京都練馬区） 入会 今崎 仙也さん（呉市豊町御手洗） 退会		56-69	
		25	お便りから		56-69	
	日々の話題	26	日々の話題		56-70	
	お知らせ	27	お知らせ		56-71	
	奥付	28	研究会案内・投稿規定・HP・編集後記（M）	（M）	56-72	
		29	2009年5月31日発行 発行 星埜 由尚 伊能忠敬研究会	編集 前田 幸子 発行 星埜 由尚	56-73	
		30	裏表紙（英文目次）		56-74	